

最期まで自分らしい人生を送るために

リビング・ウィル

～最期の覚え書～

この横須賀版リビング・ウィルは、
あなたの人生の最終段階について、
元気なうちに、考えていただくきっかけとなるよう
作成しました。

発行 横須賀市
企画 横須賀市在宅療養連携会議

はじめに

この「横須賀版リビング・ウィル」は、人生の最終段階における医療について、元気なうちに意思表示をするためのものです。

人は、いつか、どこかで、何かの原因で、その“いのち”を閉じるときを迎えます。

あなたはどのような人生の最終段階を希望されますか？どのような医療を望むのか、どのような場所で人生の最終段階を過ごしたいのか。その選択は、年齢や病気、周囲の環境によっても様々です。

時として、突然の病気やけが、病気の進行などによって、どんな医療を受けたいか、あるいは受けたくないのか、という自分の意思を伝えられなくなることがあります。

本人が意思表示できないときは、家族等や医療・ケアチームが、本人の意思を推定して、医療行為が行われるのが一般的です。しかし、人生の最終段階における医療の選択においては、本人の意思が分からないと、家族等や医療・ケアチームがその判断に悩み、時にはその結果を悔いることもあります。

あなたの希望を叶えるためには、あなたの意思を事前に表明しておくことも一つの方法です。本人の意思は家族等や医療・ケアチームが判断しなければならない場合の心強いよりどころとなります。

自分らしい人生の最終段階を迎えるため、また家族や周りの方々も安らかなお見送りができるよう、元気なうちからご自分の「人生の最終段階の医療」のことを考えてみませんか。

リビング・ウィルを作成することの目的

- ①元気なうちに、自らの人生の最終段階について考え、心づもりをしておくことで、自分らしい人生を前向きに送る。
- ②自分が受けたい医療や、受けたくない医療について、意識がなくなった際も、元気な時に考えた自分の意思を反映することができるよう、事前に意思表示をしておく。
- ③現在の医療水準では回復が見込めない状態となった時、受ける医療の選択に家族等が迷わずに済むように自分の意思を伝える。

リビング・ウィル作成の留意点

- ・リビング・ウィルを書くだけでなく、ご家族等の周りの方にもあなたの意思を伝えておくことが大切です。また、かかりつけ医など、関係する医療・ケアチームの方にも伝えておきましょう。
- ・すべての項目を記載する必要はありません。今、自分が記入できる部分だけ書いてください。ご家族等と相談しながら書いても構いません。
- ・医療行為で分からないこと、確認したいことがあれば、かかりつけ医などに相談してみましょう。
- ・周囲の状況や、ご自分の病気等によっても考えは変わります。気持ちが変わった時は、リビング・ウィルを書きなおしましょう。また、年1回程度、定期的に見直しも行いましょう。
- ・病気になったときは医師の説明をよく聞き、リビング・ウィルも改めて考えてみましょう。
- ・記入したリビング・ウィルは、誰かが見つけることができる場所に保管しておきましょう。

〔法的拘束力について〕

人生の最終段階における医療について、このリビング・ウィルに書きこんだことが法律的に正式に拘束力があるわけではありませんが、以下の指針が公表され、その中では、人生の最終段階における医療のあり方を決める際に、本人の意思が明らかな場合は、それを優先するよう求めています。

- ・「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」
(平成30年3月厚生労働省)
- ・「高齢者の終末期の医療及びケア」に関する日本老年医学会の「立場表明」
(平成24年1月日本老年医学会)

意思表示のページ (該当する□に✓を入れてください。)

1. 自分への、病気の説明について

- ・病名を知りたいですか

はい ・ いいえ

- ・余命を知りたいですか

はい ・ いいえ

- ・病状の進行状況の説明を受けたいですか

はい ・ いいえ

2. 自分以外の人への、病気の説明について

- ・自分の病名、余命、病状の進行状況について、
伝えておきたい人

いる ・ いない

※ 「いる」場合は、下記の欄も記載してください。

※ 複数いる場合は、優先順位の欄に数字を記載してください。

※ 欄が足りない場合は、欄外や別紙に記入してください。

※ ここに名前を書いた人には、その旨を伝えておきましょう。

氏名	続柄	住所・電話番号	優先順位

3. 人生の最終段階における医療について

現在の医療水準では回復が見込めない状態となった時において、

- ・延命措置を受けたいと思いますか

はい ・ いいえ

- ・緩和医療を受けたいと思いますか

はい ・ いいえ

その他の希望

[]

※ 延命措置は希望せずに、緩和医療のみを希望するという選択は可能です。

延命措置とは

回復が見込めないと判断されている状態で、生きる期間を延ばすことを目的とする措置の総称です。

〔例えば〕

- ・心肺蘇生(心臓マッサージ、電気ショック等)
- ・人工呼吸器の装着
- ・胃ろう、経鼻栄養、点滴による水分・栄養管理 等

※ 回復が見込める状態で施された場合は、延命措置にはなりません。



心臓マッサージ



人工呼吸器の装着



経鼻栄養

緩和医療とは

がんなどの病気による身体的な痛みや、精神的な苦痛を和らげるための治療の総称です。

4. 人生の最終段階を迎えたい場所

自宅 親族の家

病院などの医療機関 ホスピス

老人ホーム等の高齢者施設

その他

()

5. 代理で判断してくれる人

- ・自分の意思を伝えられない状態になった場合、
代理で医療や介護の方針を決定・判断してもらいたい人

いる ・ いない

※ 「いる」場合は、下記の欄も記載してください。

※ 複数いる場合は、優先順位の欄に数字を記載してください。

※ ここに名前を書いた人には、このリビング・ウィルの内容を伝えておきましょう。

氏名	続柄	住所・電話番号	優先順位

氏名(自署)

記入日 年 月 日

横須賀市民生局福祉こども部地域福祉課

〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11番地
消防局庁舎1階

TEL : 046-822-4332 FAX : 046-827-8158

E-mail : iryouseisaku@city.yokosuka.kanagawa.jp

リサイクル適性(A)

本冊子は、グリーン購入法に基づく令和5年度横須賀市グリーン購入調達方針の判断の基準を満たす紙を使用し、かつ、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。

この冊子は2,000部作成し、1冊あたりの単価は28.90円です。